

# 牧場を花でいっぱいにする ～ミックスフラワーと花壇の作り方～

## 1 はじめに

「牛を飼うための場所だから...」とか、「単なる作業の場所だから...」と考える方もいらっしゃいますが、最近は、観光牧場のように牧場を花でいっぱいに飾っている方も多くなりました。計画の段階で、花の配置や配色を考えている時は、花が一面に咲いた景色を想像すると楽しくなってきますし、実際に色とりどりの多くの花が咲いた景観は感動的で、いつも見慣れた牛舎まわりが、見違えるほど変わります。もちろん、道行く人や草食む牛の目も、楽しませてくれます。

各地に見られるローズガーデンやハーブガーデンを見学すると、「確かに綺麗だけれど、管理に手間が掛かりそうで...」と、花作りを諦めそうになりますが、今回は、なるべく手間を掛けずに、牧場を花でいっぱいにする方法を紹介します。

## 2 どんな花を選ぶかのポイント

### 1) 一年草と宿根草

「一年草」は、発芽から開花が終わるまでの一生を一年以内に終える草花です。春播き一年草は、春に種子を播き夏から秋にかけて開花する草花、秋播き一年草は、秋に種子を播き春から夏にかけて開花する草花です(北海道および本州高冷地では秋播きは

できません)。これに対し、数年に渡って開花が見られる草花が「宿根草」です。宿根草は、冬期は株や根が残り、春になって活動を再開して、各草花固有の時期に開花しますが、多くが播種翌年から開花します。また、この他に「二年草」という発芽から開花が終わるまでの一生が、一年以上二年以内の草花があります。二年草は、春播きで翌年に開花します。年を越えて開花することから「越年草」と呼ばれることもあるようです。

表1に一年草と宿根草の一般的な特徴をまとめました。一般的に一年草を利用すると、毎年の播種や定植作業に手が掛かりますが、除草作業を軽減することができ、一方、宿根草を利用すると除草作業に多少の手間を要しますが、毎年の更新作業がなくなるというメリットがあります。花を楽しむ場所や管理に掛けられる作業時間を考え、一年草と宿根草を上手に使い分けることで、全体の管理作業の軽減を図ることが可能と考えられます。

### 2) 直播きが可能な草花と育苗定植が必要な草花

表2に直播きが可能な草花と育苗定植が必要な草花の比較をまとめました。

花壇や鉢など、花を觀賞したい場所に直接種子を播くことを直播きと言います。マメ科植物など直根性で移植を嫌う草花、種子の発芽率が高い草花、種子の価格が安い草花などが直播きされます。コスモ

表1 一年草と宿根草の比較

	一年草	宿根草
価格	1回に必要な種子代や苗代は安いですが、毎年の購入が必要。	種子代や苗代は高いが、数年間は購入する必要がない。
花色	各色が揃いやすい。	宿根草は、黄色や白色が多く、比較的青色系が少ない傾向がある。
觀賞期間	播種当年、定植当年のみ。宿根草に比べ、開花期間が長いものが多い。	播種翌年から数年間開花。2年苗を購入すれば、定植当年から開花することもある。
除草作業	毎年、造成時に、トラクター耕起や除草剤散布ができ、除草作業が容易。	株間の除草が毎年必要で、手間が掛かる。
更新作業	毎年の播き直し、または定植が必要。	毎年の更新作業は必要ないが、追肥は必要。数年に1回、植替えをすると生育が良くなるものが多い。

表2 直播きが可能な草花と育苗定植が必要な草花の比較

	直播きが可能な草花	育苗定植が必要な草花
価 格	m <sup>2</sup> 当たりの播種量に対する価格は安い。	種子は高いが、必要種子量は少ない。苗を購入する場合、苗代はかなり高くなる。
造成作業	播種作業が容易。	自分で育苗する場合、箱播きからポット上げまでの手間が掛かる。定植作業にも手間が掛かる。
除草作業	初期生育時に雑草と競合すると生育が悪くなるため、除草作業が必要。	開花直前の苗を定植できるため、予め、トラクター耕起や除草剤散布ができ、除草作業は容易

スやヒマワリなどがこれに当たります。雑草との競合に気をつけていれば、比較的楽に花を楽しむことができます。

一方、種子が極端に小さい草花、種子の発芽揃いが悪い草花、種子の価格が高い草花などは、育苗してから、定植する必要があります。一般的には、施設内で箱に播き、苗床やポットに移植して苗を育てます。パンジー、サルビア、ペチュニアなどがこれに当たります。自分で種子から育苗することは手間が掛かりますが、多くの草花は苗が流通していますので、容易に入手することが可能です。

### 3 ミックスフラワーのご紹介

「ミックスフラワー」とは、野生草花あるいは園芸用草花として扱われてきた草花の中で、種子の直播きによって容易に栽培ができ、痩せ地や粗放的な管理にも耐え、美しい花を咲かせる草花の種子を、最も理想的な混播割合でミックスしたものです。数種～十数種ミックスした種子を用いれば、複数の花が同時に開花し、季節によって次々と花の種類が移り変わる、野原に草花が咲き乱れるような景観を楽しむことができます。当社では、混播割合や配色バランスを考えた独自のブレンドとして、「スノーミックスフラワー」という名称で販売しております。

#### 1) ミックスフラワーの播種時期と商品のご紹介

ミックスフラワーの播種時期は、地域によって異なります。北海道および本州高冷地など、積雪がある地域では、遅くとも6月中旬までに播種します。一方、本州では、春播きに加え、秋播きが可能であり、春播きでは桜の開花頃を目安に遅霜の心配が無くなってから、秋播きでは霜が降りる1カ月前までを目安に播種をします。

当社のミックスフラワーは、栽培地域それぞれに、播種時期や目的に対応するミックスが設計されています(表3)。北海道・本州高冷地向けミックスは、短い生育期間であっても、良好に開花を迎えることができる草花を中心に、また、本州向けミックスは、温暖地での栽培条件を考慮し、特に夏物語シ

リーズ(春播きで夏～秋開花のミックス)は、耐暑性の高い草花を中心にミックスしてあります。

#### 2) ミックスフラワーの栽培方法

ミックスフラワーを播種する場所は、予め耕しておき、雑草を取除いて均一に整地しておきます。無肥料でも育てることができますが、化成肥料を40～50g/m<sup>2</sup>程度、基肥として施用すると生育が良好になりますが、窒素肥料が多すぎると背の高い草花が倒れることがあるので、注意します。ミックスフラワーは、播種量が少ないので、一回で播種せず、乾いた土などで増量し、縦横斜めと3回に分けて播種すると、均一に、片寄りなく播くことができます。播種後はレーキをかけ、土と軽く混ぜ、良く鎮圧を行います。草花の発芽と共に雑草も発芽してきますので、雑草が草花の生育を妨げてしまう場合は、除草を行います。

ミックスフラワーの栽培に失敗する原因の一つに雑草に負けてしまうことが挙げられます。このような場合、播種前に土中の雑草種子を一度発芽させ、除草剤散布やロータリー耕起で、除草作業を行うと効果的です。床土の雑草をなるべく取除くことで、後の除草作業はかなり軽減されます。また、散播より



写真1 帯条播で播種した例

表3 ミックスフラワー雪印種苗販売商品

適応地域	商品名	備考	使用草種数	草丈 (cm)	播種期 (月)	開花期 (月)	標準播種量 (g/㎡)
北海道・本州高冷地	スノーレインボー	草丈高い。一年草+宿根草ミックス。	宿根草6 一年草10	30~80	4~7	6~10	1.5~2.0
	レインボーカーペット	カーペット状。一年草+宿根草ミックス。	宿根草5 一年草12	15~40			2.0~3.0
	エレガンス	草丈高い。一年草のみのミックス。	一年草12	40~80	4~6	7~10	1.5~2.0
	ファンタジー	カーペット状。一年草のみのミックス。	一年草11	15~40			
	コスモススーパーグラデーション	コスモスの早生・中生・晩生ミックス。		50~120			
本州	トールタイプ (春播き)	草丈高い。遠望タイプ。	宿根草9 一年草7	60~120	3~6	4~10	2.3
	トールタイプ (秋播き)		宿根草9 一年草7		9~10		3.1
	ローアタイプ (春播き)	草丈低い。近望タイプ。	宿根草7 一年草10	30~60	3~6		2.2
	ローアタイプ (秋播き)		宿根草7 一年草9		9~10		1.8
	ハイランドタイプ	寒高冷地向け。	宿根草6 一年草10	40~70	4~7 9~10		5~10
	ポピュラータイプ	安価で経済的。	宿根草7 一年草9	60~120	3~6 9~10	4~10	2.2
	カーペットタイプ	カーペット状。	宿根草7 一年草7	20~40			1.2
	春物語 エレガンス	草丈高い。秋播き一年草ミックス。	一年草8	40~80	9~10	4~6	1.4
	春物語 ファンタジー	カーペット状の秋播き一年草ミックス。	一年草10	20~40			2.2
	春物語 スタンダード	安価で、草丈高い。秋播き一年草ミックス。	一年草7	40~80			1.2
	夏物語 エレガンス	草丈高い。春播き一年草ミックス。耐暑性有り。	一年草5	60~80	5~7	7~10	1.2
	夏物語 ファンタジー	草丈低い。春播き一年草ミックス。耐暑性有り。	一年草7	20~40			0.8
	コスモス物語 カラフルミックス	桃・赤系+黄・橙系ミックス。	一年草7	60~140			1.8
	コスモス物語 キバナミックス	黄・橙系ミックス。	一年草3				
	コスモス物語 ローズミックス	桃・赤系ミックス。	一年草4				



写真2 ファンタジー (北海道向け)



写真3 夏物語エレガンス (本州向け)

も条播や帯条播 (写真1) で播種すると、発芽後の除草作業が容易になります。

#### 4 寒冷地向け宿根草のご紹介

市販されている園芸書などでは、植物は、一・二年草、宿根草の分類がされています。しかし、その殆どは関東以西の温暖地における分類であるため、北海道や高冷地など、冬の寒さが厳しい地域では、実際は越冬できずに枯死してしまう場合もあります。

ここでは、当社北海道研究農場 (夕張郡長沼町) における栽培試験の結果、耐寒性が強く、北海道でも十分に越冬できる宿根草について、幾つか紹介します。

##### 1) プリムラ・ロゼア (写真4)

開花の早い宿根草で、越冬中に花芽を形成し雪解け後の4月中旬頃から咲きはじめます。花径は2.5cm前後で鮮やかなピンクの花を咲かせます。暑さに弱いので半日陰になる涼しい場所に植えつけます。2~3年で3株以上に株分けすることができます。

##### 2) ユーフォルビア・ポリクロマ (写真5)



写真4 プリムラ・ロゼア

冬の鉢物として人気のあるポインセチアと同じトウダイグサ科の植物です。苞の部分が黄色く着色し開花後も苞が黄色く残るため、6月中旬から7月中旬まで観賞価値を保ちます。生育旺盛で株張りの良いものは60cmにも広がります。

##### 3) アルメリア・マリティマ (写真6)

葉は細長く密集し直径15~20cmの球状の株を形成します。6月上旬から7月中旬に花茎を20~30cm伸ばし頂部に直径3cmほどの花序を咲かせます。多湿

表4 寒冷地向け宿根草の特性 (試験場所: 北海道長沼町)

草種名 (学名)	科名	花色	草丈 (cm)	開花期間	越冬性	越夏性
プリムラ・ロゼア	サクラソウ	ローズピンク	20~50	4月下旬~5月中旬		
ユーフォルビア・ポリクロマ	トウダイグサ	黄	50~60	6月上旬~7月中旬		
アルメリア・マリティマ	イソマツ	ピンク・白	20~30	6月上旬~7月中旬		
シレネ・マリティマ	ナデシコ	白	10~15	6月中旬~7月中旬		
ヒベリカム・ポリフィルム	オトギリソウ	黄	30~40	6月下旬~7月中旬		
エリゲロン・カルピンスキヤナス	キク	白・濃ピンク	20~25	8月中旬~9月下旬		



写真5 ユーフォルビア・ポリクロマ



写真7 シレネ・マリティマ



写真6 アルメリア・マリティマ



写真8 ヒベリカム・ポリフィルム

により株が腐敗する場合がありますので、排水の良いところに植えつけます。

#### 4) シレネ・マリティマ (写真7)

フクロナデシコの一つで草丈は10cmほどでカーペット状に広がり地面を覆い隠すため、雑草の発生は殆ど見られず、グランドカバーとして用いることができます。花径3cmの白色の花を咲かせ、6月中旬から7月中旬まで開花を続けます。

#### 5) ヒベリカム・ポリフィルム (写真8)

6月下旬から開花が始まり、草丈は30~40cmで株全体に濃い黄色の花を咲かせます。花は大きく径5~7cmで分枝数が多いためボリュームのある宿根草です。

#### 6) エリゲロン・カルピンスキャナス (写真9)

宿根草の中では開花は遅く8月中旬から霜が降りるまで開花盛期が続きます。開花直後は白色の花色ですが、開花が進むと濃いピンクへ変化していきます。越冬性はやや弱い傾向にありますが、落下種子により翌年も開花します。



写真9 エリゲロン・カルピンスキャナス

## 5 おわりに

### ~省力管理を考えた花壇の配置~

花を咲かせたい場所が、鉢やコンテナなのか、花壇や庭なのか、数十㎡の敷地なのか、数百㎡規模の畑なのかによって、使用する草花がある程度決まり、それによって最適な管理も決まります。

鉢やコンテナの場合、直ぐに観賞できる様に、育苗したポット苗や市販されているポット苗の一年草

を使用します。多少高い苗であっても、面積が少ないので、費用は安く済みます。雑草種子を含まない土を使えば除草作業も少なく済み、雑草が生え揃う頃に開花が終わっていれば、そのまま処分することができます。鉢やコンテナの場合、露地植えに比べて乾燥しやすいため、水やりには十分注意します。

花壇や庭の場合、一年草や宿根草、直播きが可能な草花や育苗定植が必要な草花、いずれも使用できます。宿根草は自然の季節に合わせて開花するため、数種類の草花を植えておけば、季節感を味わうことができます。しかし、宿根草の多くは一年草と比較すると開花期間が短く、また、開花も播種翌年からとなるため、花壇の中で一年草と宿根草を上手に使い分ける必要があります。宿根草は株が年々大きくなり、花の咲いていない時期でも地面を覆い、雑草を抑える効果も期待できます。また、グランドカバー植物や予めマット状に栽培されたマット苗を使用することで、さらに雑草の発生を少なくさせることが可能です。

道路沿いやある程度まとまった面積の場所であれば、直播きで生育できる草花が適します。コスモスやヒマワリ、ミックスフラワーなどが利用できます。この場合、前述の条播や帯条播を行い、観賞する場所の近くは除草をまめに行い、遠くの方は、草

丈が高くミックスフラワーの生育を阻害してしまうような雑草を取除く様にします。また、一年草のミックスを使用すれば、毎年播種前にトラクター耕起や除草剤散布ができ、雑草を少なくすることが可能です。

数百㎡規模の畑の場合は、キカラシやアンジェリアなどの景観緑肥が適します。種子の価格が安く、また、初期生育が早く、雑草を抑えて生育するため、大規模な緑化に適します。しかし、開花期間が短いことが欠点であるため、観賞期間を長く取りたい場合は、圃場を幾つかに区画分けし、播種期をずらして栽培すると良いと思います。

最後に、牧場を花でいっぱいにする植栽プランを考えてみました(図1)。彩りに満ち溢れた素敵な牧場を作ってみませんか。

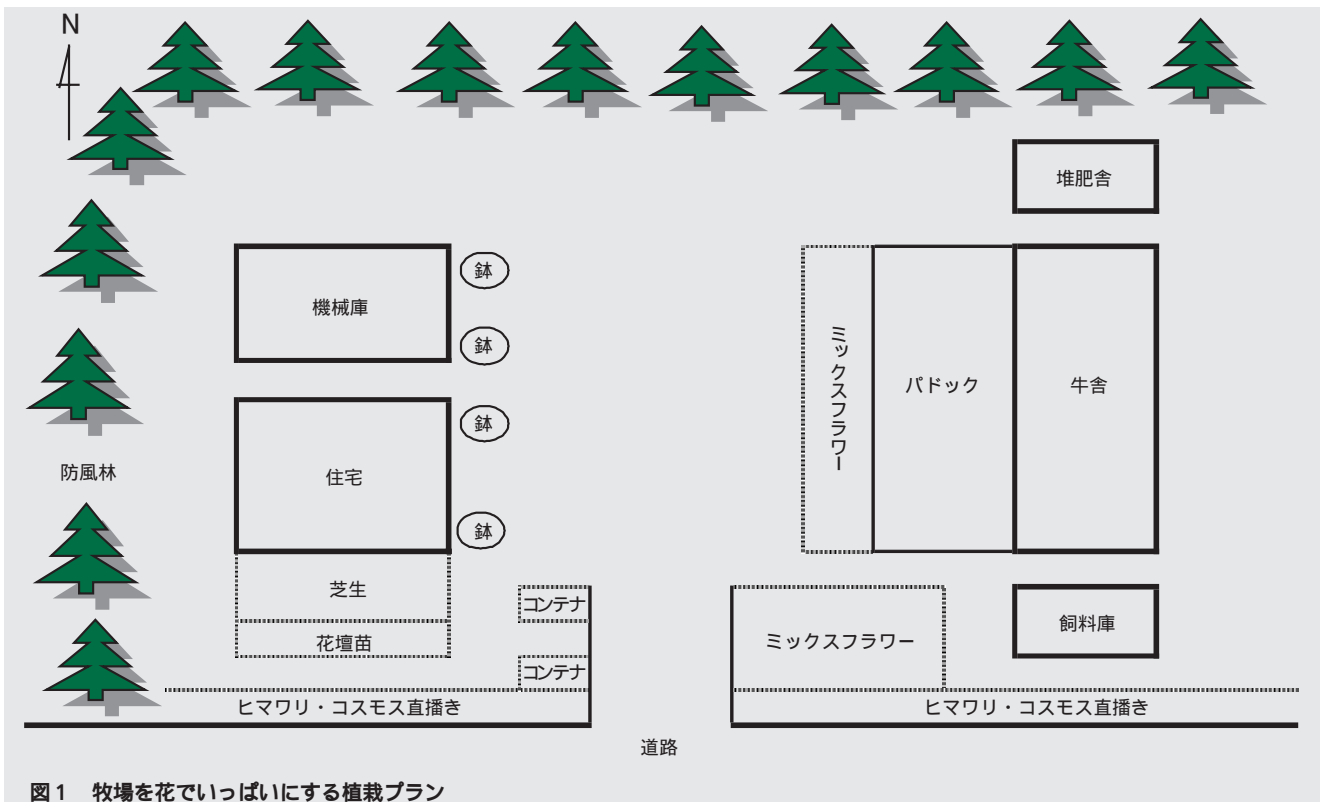


図1 牧場を花でいっぱいにする植栽プラン